

課題番号4

課題名	【重点課題1】 ビジネスマインドを持つ農業者の育成 泉州農業を牽引するモデル的な農業者の育成	
対象： 管内重点指導対象農業者	計画期間 H29～R3	事務所名 泉州農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法	活動成果（達成率）
規模拡大等を目指す農業者や早期の経営安定を目指す新規就農者や参入企業への重点的な支援 産地を牽引するモデル的な農業者を育成	①コンサル事業を活用した新商品開発 ②スマート技術の導入による収量アップ ③きく夏生産の新規導入 ④経営改善を目指したJGAP認証の取得	目標：重点指導農業者のH29～R3の販売額の増加（28年度比） 目標639百万円⇒実績見込約514百万円 （達成率：約80%）

総合評価（コメント）	
A :5名 B : 2名 ■重点指導対象となる農業者の特性と営農意向をふまえた適切な経営支援活動を実施しており、評価できる。モデル的な農業者の育成（個別指導）を通じた活動展開により、今後の産地強化（面的指導）活動への取組に期待したい。 ■「ビジネスマインド」を持つ農業者の育成とモデル化を進めるとともに、必ずしもそこに相当しない農業者のフォローをどうするのか、さらには、両者を念頭に置いた産地体制をどう構築していくのかが重要な課題である。 ■難しい課題に挑戦し、目標こそ達成できなかったものの、一定の成果を上げた。 地域農業の底上げにもつながる、モデル的な普及指導活動を実施したと言えるのではないかな。 ■色々な活動について、どのような農家さんに向いているか？どのような効果が期待できるか？実施の条件など、ある程度明確であれば意見を取り入れてくれないという理由の達成困難者を減らせるのではないかと感じた。（自分に向いた施策を選択できるため） ■泉州全体のレベルアップになる。 ■重点指導対象者を見直し、販売額増加を目指す農業者の選定、所得率アップや省力化を目指す農業者、経営の発展段階に即応した支援など、より具体的な方向を示されており指導内容の充実が図られている。 ■本件は、泉州なすやきく等、地域の特産品の生産を中心に、地域の農業振興の一翼を担う取組となっている点は評価できる。 施策にあたっては費用対効果の面の検証が不可欠であり、さらなる農業振興のための継続的な取組に期待する。	

評価 A:おおむね適切である。 B:部分的に検討が必要である。 C:見直しが必要である。